

北海道発！日本一のシクラメン！

～技術継承と北海道ブランド確立に向けたマニュアル作成へ～

1 背景

- ・シクラメンは冬の室内を彩る代表的な鉢花であり、北海道でも広く親しまれている。
- ・高品質なシクラメンを安定生産するには高度な技術が必要であり、若手生産者ほど栽培の勘所を掴みにくいという課題がある。
- ・全国統計では、2011年から2022年の10年間で国内生産量は27.5%減少し、北海道の生産割合も5.44%減少している。
- ・北海道は冷涼な気候を活かせる「高品質産地」としてのポテンシャルが高い。しかし、北海道の生産者が減少している理由として「技術継承の難しさ」が挙げられる。
- ・北海道の気候特性を活かしつつ、次世代の担い手が安定して高品質なシクラメンを生産できるよう、持続可能な生産体制を支える技術継承の仕組みづくりおよび基盤となる「基本技術マニュアル」の作成を最終目標とし、プロジェクトを実施する。

2 プロジェクト実施の意義

「冷涼な北海道だからこそ作れる高品質シクラメン」というブランド価値を確立し、北海道の冷涼な気候を最大限に活かし、「高品質シクラメンを安定生産するための基本技術の確立」を目的とする。

3 試験概要

(1) 栽培環境

施設：学校内園芸ハウス（1号）
換気：天窓・側窓による自然換気
遮光：必要に応じて遮光カーテンおよび寒冷紗を使用
かん水：手灌水（株元灌水を徹底）

(2) 供試材料

供試品種：マリアージュ、ティアニス

播種日：2025年11月5日

鉢上げ日：2026年3月26日（9cmポリポットへ）

鉢上げ日：2026年5月14日～6月13日（5号鉢へ：2週間目処にずらす）

4 調査内容

(1) 根張り調査

ア 培養土の配合割合による比較調査

試験区A：赤玉土：腐葉土：インクス：火山レキ：マグアンプ
2：2：4：1：200ml

試験区B：黒土：赤玉土：腐葉土：インクス：火山レキ：マグアンプ
3：2：1：3：1：200ml

試験区C：赤玉土：腐葉土：ピートモス：火山レキ：パーライト：マグアンプ
2：2：3：1：3：200ml

慣行区：黒土：腐葉土：インクス：火山レキ：パーライト：マグアンプ
4：1：1：4：1：200ml

イ 目視による確認

ウ t/r率による検討

(2) シクラメンの外観計測値の測定

ア 葉数 オ 花数
イ 蕾数 カ 葉層直径
ウ 花層直径 キ 株の全高
エ 葉層の厚さ

